

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-740	06-092	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名（原題／訳）		
<p>Cannabis, Tobacco, Alcohol Use, and the Risk of Early Stroke: A Population-Based Cohort Study of 45 000 Swedish Men.</p> <p>大麻、たばこ、アルコールと若年性脳卒中のリスク；45,000 人のスウェーデン人一般住民男性コホート研究</p>		
執筆者		
Falkstedt D, Wolff V, Allebeck P, Hemmingsson T, Danielsson AK.		
掲載誌		
Stroke. 2017 Feb;48(2):265-270. doi: 10.1161/STROKEAHA.116.015565. Epub 2016 Dec 27.		
キーワード		PMID
大麻、たばこ、アルコール、若年性脳卒中、一般住民		28028147
要 旨		
目的：		
<p>大麻と脳卒中に関する最近の知見は専ら臨床研究に基づいている。今回は一般住民対象として大麻と若年発症の脳卒中との関連について喫煙、飲酒を考慮に入れて分析することを目的とする。</p>		
方法：		
<p>対象は 1949 年～1951 年に出生し 18 歳～20 歳で徴兵制度に徴集された 49,321 人のスウェーデン人男性。全員が徴集時に 2 種類の詳細な質問票に回答し、身体能力、心理状態、医学的状況を検査された。脳卒中発症は 60 歳までナショナルデータベースに基づき調査された。</p>		
結果：		
<p>若年期での大麻使用は 45 歳未満あるいは 60 歳未満での脳卒中発症との関連を認めなかった。50 回以上の大麻使用のハザード比(95%信頼区間)(以下 HR(95%CI)と記載)は 45 歳未満で 0.93(0.34-2.57)、60 歳未満で 0.95(0.59-1.53)であった。50 回以上の大麻使用で虚血性脳梗塞の 2 倍のリスクを認めたものの、喫煙を調整すると弱まった(HR(95%CI)=1.47 (0.83-2.56))。20 本/日以上喫煙は 45 歳未満あるいは 60 歳未満での脳卒中発症と有意に関連した(45 歳未満の HR(95%CI)は 5.04(2.80-9.06)、60 歳未満は 2.15(1.61-2.88))。</p>		
結論：		
<p>大麻使用と若年性脳卒中発症との関連は認めなかったが、喫煙は容量依存性に脳卒中と関連を認めた。</p>		